

2005（平成17）年度私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会総会 議事要録

日時：2005（平成17）年5月24日（火）10時30分～15時00分

場所：名城大学附属図書館視聴覚室

出席：32館 44名

委任状提出館 17館

議事に先立ち、理事校名城大学附属図書館長（小嶋）より開会の挨拶が行われた。続いて理事校名城大学（飼沼）より加盟49館のうち32館の出席があり、私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会則第8条第2項＜総会は、加盟館の過半数の出席をもって成立するものとする。＞の要件を満たしているので本総会は成立したとの宣言が行われた。

【議長選出】

理事校名城大学附属図書館長（小嶋）を議長に選出し、下記の議事を協議した。

【議 事】

[報告事項]

1．2004（平成16）年度東海地区協議会事業報告

前理事校南山大学（栗山）より総会資料（p.7-10）に基づき、昨年度は総会及び3回の常任幹事会が行われたとの報告があり、常任幹事会での協議事項について説明があった。

2．2004（平成16）年度東海地区協議会研究会事業報告

前研究会幹事校中京大学（中河原）より総会資料（p.11-13）に基づき、運営委員会ならびに「利用者の情報ニーズと図書館サービス ～図書館利用教育の充実を求めて～」をテーマとした研究会、および研究集会の活動が行われたとの報告があった。

3．2004（平成16）年度東海地区協議会相互協力委員会事業報告

相互協力委員会委員長校金城学院大学（鈴木）より総会資料（p.14-17）に基づき、情報化委員会と合同で活動したとの報告が行われた。併せて単独の活動としてデータベース合同説明会を実施したとの報告が行われた。

4．2004（平成16）年度東海地区協議会情報化委員会事業報告

情報化委員会委員長校愛知大学（三浦）より総会資料（p.18～19）に基づき、相互協力委員会と合同で活動したとの報告が行なわれた。併せて単独の活動として東海地区協議会のホームページの維持・管理を行っているとの報告が行われた。

5．2004（平成16）年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議報告

前理事校南山大学（栗山）より総会資料（p.20）に基づき標記報告が行われた。

6．2004（平成16）年度協会関連事項報告

1) 部会・協会関係および関連団体

前理事校南山大学(栗山)より総会資料(p.21~25)に基づき報告が行われた。

永年勤続表彰制度検討委員会委員校(栗山)より総会資料(p.26~29)に沿って、2006年度以降勤続年数での表彰制度を廃止する答申を会長校へ提出し、第2回東西合同役員会(3月3日開催)で了承され7月の全国大会に諮られる旨の報告がなされた。また、それに替わるものとして私立大学図書館協会を活性化していく制度・事業を検討しているので、ご意見、要望があれば理事校にお寄せいただきたいとの補足説明があった。

2) 協会賞審査委員会・研究助成委員会

協会賞審査委員会・研究助成委員会委員校金城学院大学(鈴木)より総会資料(p.30)に基づき、協会賞2件および研究助成1件の申請があったが、研究助成については応募の理由が出版助成であったという点で却下された旨と引き続き前理事校南山大学(栗山)より、第2回東西合同役員会にて委員会案が承認され決定したとの報告が行われた。

3) 国際図書館協力委員会

前国際図書館協力委員会委員校中京大学(中河原)より総会資料(p.31~32)に基づき、標記委員会の2004年度の活動について報告が行われた。

4) 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員校南山大学(栗山)より総会資料(p.33~35)に基づき、2004年度の活動と東海地区協議会ホームページのアクセス状況について報告が行われた。

2) 私立大学図書館協会2005年度西地区部会総会について

理事校名城大学(飼沼)より総会資料(p.36)に基づき、2005年度西地区部会総会について報告が行われた。併せて今年で3回目となる館長懇話会を「大学図書館の地域開放」というテーマで開催されるとの報告が行われた。

7. その他

南山大学(栗山)より、東海地区大学図書館協議会加盟大学と公共図書館の相互協力を推進するために東海地区図書館協議会が立ちあげられた旨の報告が行われた。

なお、併せて今年の東海地区大学図書館協議会総会が7月5日(火)に名古屋工業大学で開催される旨の報告があった。

[審議事項]

1. 2004(平成16)年度東海地区協議会決算(案)および監査報告

前理事校南山大学(栗山)より総会資料(p.39)に基づき、標記決算案について説明が行われた。併せて総会資料(p.40~42)に基づき研究会、相互協力委員会、情報化委員会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について説明が行われた。引き続き、

前監事校金城学院大学（鈴木）より総会資料（p.43）に基づき決算案について4月13日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案は承認された。

2．図書館サービス・システム委員会設置および規程等改正について

理事校名城大学（飼沼）より総会資料（p.45）に基づき、活動内容の重複、専任職員の減少等の理由により相互協力委員会と情報化委員会を統合して新たに図書館サービス・システム委員会を設置し、それに伴う規程改正をしたい旨の説明があり、本件案が承認された。

また、総会資料（p.46～48）に基づき、実態に合わせて賛助加盟会費を「館灯」広告掲載費、交付金を支援費に規程上の文言を変更すること、従来「館灯」に名簿を掲載していたが、個人情報保護法の施行に伴い2005年度作成分からは掲載しないこと、並びに「館灯」は従来、各館保管用1冊及び職員名簿に記載されている職員数を配布してきましたが、それを改め各館2冊（分館がある場合は1館につき2冊追加）とする旨の説明があり承認された。

3．2005（平成17）年度役員校および委員校（案）

理事校名城大学（飼沼）より総会資料（p.49）に基づき、2005年度の役員校および委員校について説明があり、承認された。

4．2005（平成17）年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校名城大学（飼沼）より総会資料（p.50）に基づき、標記計画について例年どおり実施するとの説明があり、承認された。

5．2005（平成17）年度東海地区協議会予算（案）

理事校名城大学（飼沼）より総会資料（p.51～53）に基づき、説明があり、承認された。

6．2005（平成17）年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）

研究会幹事校東海女子大学（児玉）より総会資料（p.54～55）に基づき、「多様な利用者に向けた大学図書館運営の課題」をテーマにした活動と予算案について説明があり、承認された。

7．2005（平成17）年度東海地区協議会図書館サービス・システム委員会事業計画ならびに予算(案)

図書館サービス・システム委員会委員長校金城学院大学（鈴木）より総会資料（p.56）に基づき、事業計画並びに予算案について説明があり承認された。

なお、今年度の支援費は20万円に定め、第1回の委員会を5月30日（月）に金城学院大学で開催される旨の報告があった。

8．2005（平成17）図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算（案）

理事校名城大学（飼沼）より総会資料（p.57）に基づき、昨年同様2回の標記会議を開催する（第1回は図書館サービス・システム委員会と合同で情報セキュリティに関係すること、第2回は個人情報保護法に関係することがテーマ）旨と予算案について説明

があり承認された。

予算については昨年度より2万円増えて12万円（前々年度と同額）になったこと、第1回目は、図書館サービス・システム委員会と合同で開催し、管理・運営責任者以外の実務担当者も参加が可能であるとの報告があった。

9.2005（平成17）年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・当番校について

理事校名城大学（飼沼）より総会資料（p.58）に基づき、2009・10年度の朝日大学の東海地区協議会の理事校辞退が2004年度第2回の常任幹事会で承認されたこと、また、2011年度以降の東海地区協議会の理事校のローテーションを総会資料P.58のローテーション表で運営していくことが諮られ承認された。

総会出席者から、今後、学生数が4000名を超える大学があった場合はどのようにローテーションに組み入れていくかとの質疑があったが、そのようなケースがでてきた場合は常任幹事会で検討していくこととなった。

また、総会出席者から、いろいろな方面で多様な活動がなされているが、当事校の過度な負担にならないようにしていかなければならないとの指摘があった。

併せて理事校名城大学（飼沼）より総会資料（p.59）に基づき、2010年度の私立大学図書館協会研究会当番校を今後決めていく必要がある旨の報告があった。

10. その他

理事校名城大学（飼沼）より下記の報告があった。

- ・東海地区で開催される研究会・研修会については、今年度から嘱託・派遣職員についても参加が可能であるということ、また、他地区で開催される場合も主催者側の了解が得られれば参加できる旨の報告があった。
- ・今年度の加盟会費が2004年5月1日時点での学生数で算出された点と来年度の加盟会費を決める基となる今年度の5月1日時点での学生数の報告依頼の説明が行われた。

以上